

平成 29 年 第 3 回 定 例 会 一 般 質 問 通 告 事 項

| | |
|----------------------------|---|
| 9 月 7 日 午 後 | <p>山 根 信 行 議 員 (新 和 会) 質 問 方 式 : 一 括 質 問 方 式</p> |
| | <p>1 尾道市立小学校の学校選択制と通学設定について</p> <p>(1)学校選択制の基になる、受け入れ可能人数は何を基本に決定しているのか</p> <p>(2)各小学校区の住民基本台帳による、児童数と学校在籍児童数があまり乖離すると、定めた通学区が崩れることになり適正な入学制度が望まれるが、どのように考えているか</p> <p>(3)通学区内に在住する児童が、他の通学区域に入学の申請をする場合、どのような理由・条件が備わる必要があるか</p> <p>(4)今後もいっそう児童数が減少する学区が生じてくるが、その際、学校の統廃合を極力避け、地域により通学区域見直しも検討すべきと思うがいかがか</p> <p>2 観光都市尾道の景観について</p> <p>(1)観光施設目的に築城された尾道城は、日本遺産に指定されたまち尾道になじまないばかりでなく、歴史を誤って伝えていると考えます 状況に応じては、市が主体的に取り組む必要があると考えますが、見解をお述べ下さい</p> <p>3 コメ政策の大転換と、農山村の雇用対策について</p> <p>(1)優良農地を守り、農道、水路等の機能を維持するため、農用地区域内は「中山間地域等直接支払制度」や「多面的機能支払制度」を活用し、法人や地域組織により農地等の保全活動が行われておりますが、これらの制度の対象とならない地域の農地が「耕作放棄地」とならないよう、制度の対象条件の緩和や振興区などと協働して行える仕組みについてどのように、お考えかお聞きします</p> <p>(2)米政策の転換や農業後継者不足などにより、農地の耕作放棄がますます増えると予想される中、成長性の高い産業などへの農地の有効利用は農村地域の雇用の確保など活性化に有効なものと考えますが、尾道市の農村地域の振興策についてどのようにお考えかお聞かせください</p> |

4 上水道事業と下水道事業の組織統合について

- (1)上水道・下水道の事業にかかわる組織編成は、今後どのような計画で進める考えですか
- (2)組織統合後の事業局は何処に開設するお考えですか
- (3)下水道事業において、「下水道事業計画区域」変更を計画されていますか
- (4)今後、どのような下水道全体計画をお考えか伺います
- (5)本年8月、「大規模地震対策特別措置法」を見直し、「南海トラフ全域」まで拡大し、予知を前提としない現実的な「防災・減災」対策に取り組みを強化する方向が示されました
上水道・下水道組織統合を機会と捉え、災害に備えた新たな取り組みがあればお知らせください

5 市道美栗線改良工事について

- (1)運動公園の直接アクセス道路である、美栗線については、頂上部の運動公園入口付近を先頭に時間帯と、開催日などにより大渋滞が発生しており、困難な状況は把握いたしていますが、何か対応策を検討されていればお知らせください